

あとがき

山梨県総合教育センター
次長 鷹野 美香

各学校および各教育機関におかれましては、日ごろから本センターの諸事業に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。併せて、本センターの研究推進に当たりご協力、ご指導いただきました研究協力校、山梨大学、山梨県教育庁の関係各位に厚く御礼申し上げます。

さて、令和3年8月、本センターでは、リーフレット『いいじゃん！やまなし21』を作成、お届けし、5月に全国学力・学習状況調査とともに実施した児童生徒質問紙調査において、山梨県の子供たちの肯定的な回答が全国の中でトップレベルだった項目を紹介しました。「自分には良いところがある」「人が困っているとき進んで助けている」「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」「いじめはいけない」「やると決めたことはやりとげる」「失敗を恐れなくて挑戦している」などです。授業に関しては、「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっている」「授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と答えた児童生徒が多かったことも、特筆すべきところです。山梨の子供たちの良さや強み、先生方の取組がわかります。

本センターは、このような子供たちの生きる力を、日々の教育活動において総合的に育てている先生方のお役に立てるよう、「学校教育を支援する確かな情報発信源」として、研修、研究、相談等の業務を行っています。

研究分野においては、今日的な教育課題の解決に向け、研究協力校の先生方と共に、学校支援と教職員の資質の向上につながる実践的な研究を進めてまいりました。令和4年2月22日にオンラインで開催いたしました研究大会では、『「新たな時代に対応する学校教育への総合的な支援」－求められる資質・能力の育成に向けた実践的指導の在り方－』をテーマに、本年度の研究について、多くの先生方にお伝えするとともに、ご意見を伺うことができました。本年度末で閉室する「石和こすもす教室」の取組や今後の本センターにおける不登校児童生徒支援についても知っていただくことができました。また、特別講演では、山梨大学 副学長の 中村和彦 氏をお迎えし、「子供たちに寄り添う学校教育の在り方」と題してご講演いただき、私たちが大切にしなければならぬことを改めて考える機会となりました。本大会の開催にご尽力いただいたすべての皆様方に、改めて御礼申し上げます。

本紀要は、各教育機関へのCD配布とともに総合教育センターホームページに掲載されます。掲載された研究報告が、各学校等における教育活動や校内研究、また研修充実のための一助になれば幸いです。

今後も本センターに対する皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。あとがきとさせていただきます。

